

# Corridart

[コリダール]

横須賀美術館ニュース「Corridart」vol.31  
発行：横須賀美術館 〒239-0813 横須賀市鴨居4-1  
Tel.046-845-1211  
ホームページ <https://www.yokosuka-moa.jp/>

横須賀美術館ニュース  
NEWS FROM YOKOSUKA MUSEUM OF ART

2026.3  
volume.

# 31

「Corridart」(コリダール)とは、corridor(回廊)とart(美術)の二つのフランス語を合わせた造語です。横須賀美術館地階の回廊型のギャラリーにちなんで名づけられました。

[特集]

## 横須賀美術館、休館中も活動中!

[展覧会紹介]

## 美術館再開後の企画展のご案内

[この1点]

## 荒川修作 アルファベット・スキンNo.3

編集：横須賀美術館 / 令和8年3月発行  
デザイン：tegusu Inc.  
印刷：ニューカラー写真印刷株式会社  
\*このニュースは5,000部作成し、1部あたりの印刷費は約59円です

横須賀美術館の情報は公式XやFacebook、Instagram、YouTubeでもご覧になれます。



小林孝巨 (Moonlight) 2014年

お知らせ

## 美術館再開後の企画展のご案内

\*予定は変更になる場合があります。

### 没後10年 横須賀美術館コレクションによる 島田章三展

横須賀生まれの洋画家・島田章三(1933-2016)は、フランスで生まれたキュビズムを「日本人の言葉(造形)に翻訳」を試み、幾何学的空間構成の中に日常的な情景を組み込んだ独自の人物表現「かたちびと」で具象絵画の可能性を追求しました。没後10年を機に、当館コレクションから横須賀を描いた油彩をはじめパリで描いた素描、版画にイーゼル、パレットなどの資料をあわせた約130点を初めて全点展示します。

会期 2026年9月初旬～11月3日(火・祝)  
休館日 10月5日(月)、11月2日(月)  
主催 横須賀美術館



島田章三《鳥たちのエリア》1995年

### 生誕120年 三岸節子展

「情熱の画家」として知られる三岸節子(1905-1999)。夫・好太郎の早逝や、戦争を乗り越えて描き続け、戦後、日本を代表する洋画家として広く認知されました。1954年に渡仏し、のち南仏カーニュやブルゴーニュ地方のヴェロンを拠点として独自の風景画を完成。1989年に帰国し94歳で亡くなるまで、大磯のアトリエで旺盛な制作を続けました。本展では、山田諭氏の監修のもと、代表作、初出品を含む約70点により、生涯を通じて展開した三岸節子の芸術を振り返ります。

会期 2026年11月14日(土)～12月20日(日)  
休館日 12月7日(月)  
主催 横須賀美術館、生誕120年 三岸節子展実行委員会  
特別協力 名古屋市美術館・堀美術館



三岸節子《自画像》1925年  
©MIGISHI 一宮市三岸節子記念美術館蔵

この  
1点

## 荒川修作 《アルファベット・スキンNo.3》

1966年-67年、229.5×360.0cm



1936年に名古屋に生まれた荒川修作。1961年以後ニューヨークに移住し、記号、直線、矢印、英語の単語、色彩のグラデーションなどで構成したダイアグラム(図式絵画)に取り組み始める。本作《アルファベット・スキンNo.3》も、室内をモチーフとして、窓、ベッドといったモノや人を、線やアルファベットで表しており、ダイアグラムの1点と考えられる。

また、この印象的なタイトルである「アルファベット・スキン」だが、同様のタイトルを付けた何点かのシリーズ(油彩、デッサン)を描き始めたのもこの頃である。不思議なことだが、本作と同タイトルで別作品の《アルファベットの皮膚No.3》(1966-67、240×471cm)が、第9回東京国際ビエンナーレ(1967年)に出品され、東京国立近代美術館に収蔵されている<sup>注2</sup>。部屋を俯瞰したような構図、室内のモノを線やアルファベットで表す点も同様であり、本作は東京国立近代美術館蔵作品と同時期に描かれていたと思われるが、1968年開催の「ドクメンタ4」に出品した、本人の自信作でもある。(工藤香澄)

注1:小川綾子[研究ノート]作品研究:荒川修作《アルファベットの皮膚No.3》(1966-67年)―「アルファベット・スキン」をめぐる試論[東京国立近代美術館研究紀要]28号、2024年を参照。

注2:東京国立近代美術館のデータベースに登録されているタイトルが和文表記となっているため、そのままのタイトルを使用した。

横須賀美術館の所蔵作品の中から、毎回1点を選んで学芸員がくわしく紹介するコーナーです。

報告

# 第78回児童生徒造形作品展

2026年1月17日(土)から25日(日)まで、横須賀市文化会館にて「第78回児童生徒造形作品展」を開催しました。美術館も教育委員会や造形教育研究会と連携し、広報ポスターや看板の制作、展示の監修を行いました。



横須賀美術館

# 活休館中中も



お知らせ

## しばらくラジオお休みします

FMブルー湘南で平日15時から放送されている番組「あそびにきませんかスタジオへ」では、毎月第3木曜日に横須賀美術館の情報をお届けしてきました(2026年4月より、休館に伴い休止中)。美術館の休館が明けると、また展覧会情報などをお知らせいたします。どうぞお楽しみに。



※このほか、毎週木曜日14時35分頃から、図書館・博物館・美術館・まなびかんの情報あれこれを紹介する「まなび猫調査隊」を放送しています。各館に住み着いた猫とスタッフが登場します。

予告

## 高校に学芸員が出張授業!

休館中に学芸員が横須賀市内の高校に出張授業に出かけます。3月25日には第1弾として、横須賀総合高校の美術部有志の皆さんと、作品を見ながら対話鑑賞を行いました。



事前打ち合わせの様子

予告

## 学芸員が市民大学でお話しします!

会場:まなびかん(横須賀市生涯学習センター)

導入編

### もっと知りたい横須賀美術館 建築・デザイン・コレクション

2007年に開館し、現在は改修工事のため休館中の横須賀美術館。2026年秋のリニューアルオープンを前に、美術館を丸ごと楽しむための魅力を学芸員がご紹介します。

日程 4月22日(水)

### もっと知りたい横須賀美術館 横須賀ゆかりのアートへの誘い

6000点に及ぶ日本の近現代美術作品を所蔵する横須賀美術館。今回はその中から、「横須賀」をテーマに優れた作家とその代表作をご紹介します。

#### 各回内容(予定)

- ① 5月13日(水) 旅に生きた横須賀の画家 矢崎千代二
- ② 5月27日(水) 田浦に住んだ洋画家 朝井閑右衛門
- ③ 6月10日(水) 横須賀の写真 1950年代以降
- ④ 6月24日(水) 横須賀が生んだ洋画壇の巨匠 島田章三
- ⑤ 7月8日(水) 海辺を描く友禅作家・中村光哉
- ⑥ 7月15日(水) 『週刊新潮』表紙絵作家・谷内六郎
- ⑦ 7月29日(水) 横須賀・三浦半島の現代美術

2025年11月から約10か月間、施設の改修工事のため、横須賀美術館は2026年8月(予定)まで休館中です。工事はしていますが、美術館の人たちは活動中。今回の特集では、休館中の活動をご紹介します。

事前申込制・申込開始 3/23 10時～・先着順

### お申し込みについて

講座のお申し込みの前にまなびかん講座運営システムに登録が必要です。早めの登録をお勧めします。登録後、まなびかんホームページの講座運営システムからお申し込みください。詳細はまなびかんホームページをごらんください。  
<https://manabikan.net/>



〈ドックの祝日〉1976年 谷内六郎

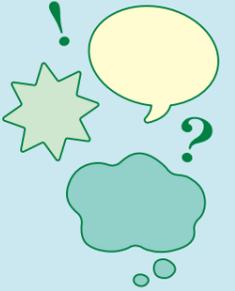


〈南洋の夕雲(シンガポール海岸)〉1922年 矢崎千代二

報告

## トークショー 美術館と地域のデザイン

去る3月14日に、まなびかんに会場にして、建築家永山祐子氏、滋賀県立美術館ディレクター保坂健二郎氏、2025年大阪・関西万博のEXPO共創プログラム・ディレクターを務めたパノラマティクス主宰齋藤精一氏、当館学芸担当課長富田康子が、美術館が地域に果たす役割とその可能性について語り合うトークショーを行いました。



報告

## ギャラリートーク ボランティア

この日は、「日本の近現代の彫刻史」をテーマに学芸員によるレクチャーを受けました。「彫刻」といって思い浮かぶものは、「ロダンの考える人」だったり、「広隆寺の弥勒菩薩像」だったり、人によってさまざまでした。どうしてそうなったのか、歴史をたどりながら、みんなで考えました。



「島田章三展」にてボランティアによる推しコメント(=作品紹介)を掲出する予定です。島田章三さんのことを調べ、各々で作品の良さを見つけていきます。ギャラリートークとおなじく、お客様に伝わる文章となるよう、推敲を重ねます。



予告

## 画家・谷内六郎にちなんだ給食「菜の花サラダ」を提供します!

横須賀市立の小・中・特別支援学校の皆さんに谷内六郎について知っていただくため、2022年から年1回、谷内六郎の得意料理だった「いくらでもスープ」を冬に提供してきました。2026年からは、メニューを「菜の花サラダ」に変更し、春に提供します。

2025年冬に提供した「いくらでもスープ」



菜の花が登場する『週刊新潮』表紙絵(リボンについてくる蝶)(1974年)

予告

## プロジェクトボランティア「すかび隊」イベント開催

休館中ではありますが、ゴールデンウィークの始まり頃にすかび隊 presents「飛ばそう!シャボン玉2026」を開催予定です。詳細は、後日当館ウェブサイトやSNSにてご確認ください(4月以降告知予定)。

